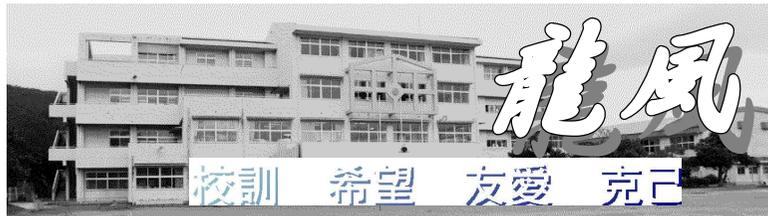




龍郷町立龍南中学校学校便り

令和3年9月1日号



～ 充実させ、花を咲かせ、実を結ぶ ～

校長 富士 篤也

一段とたくましくなった皆さんに、こうして会えることを大変うれしく思います。夏休みは、日常の学校生活では味わえない体験ができたでしょうか？

さて、二学期は「充実の学期」です。一学期、そして夏休みに感じたこと・学んだこと・体験したことを「種」として、花を咲かせるのが二学期です。よい種がまけなかった人も、少し花が咲きかけている人もいるかもしれません。大切なことは、自分がまいた種がどんな種なのか、それをよく観察し、時には水をやり肥料を与えることです。

それぞれの学年にとって二学期はどんな時でしょうか。学年ごとに期待することをお話します。

1年生は中学校生活にもだいぶ慣れてきたのではないのでしょうか。自分なりの生活や学習の仕方をつかみかけてきたことと思います。その中で、キーワードとなるのは、「集中」と「意欲」です。皆さんは一学期、宿泊学習を体験しました。各係の活動を通して、みんなで協力する大切さを学び、「学級・学年の友達の和」を広げました。係での自分の役割をきちんと果たし、責任感も身につけてきた人も多いいはずです。また、部活動においても基礎的な練習を積み重ね、自分やチームの目標ももてるようになってきたのではないのでしょうか。

2年生は、大きな意味をもつ二学期となるでしょう。9月がスタートすると、龍南中学校を引き継ぎ、学校のリーダーとなる生徒会選挙が行われます。これからの学校、生徒会活動の目標をしっかり描くときです。そして、3年生から生徒会をバトンタッチされることになるでしょう。そのためにも、二学期から少しずつ龍南中学校の伝統を受け継ぐ自覚をもってほしいと思います。校訓「希望・友愛・克己」の3本柱の伝統をしっかり受け継いでください。

3年生は、自分の目指す進路に向けて一層努力するときです。今まで培ってきた様々な力を総動員して、かけがえのない自分を大切に思い、自分をよく見つめ、自分のよさを存分に発揮できる進路選択をしてほしいと思います。そして、自分の目標に向かって、真剣に取り組んでほしいと思います。自分の人生は自分で切り拓いていくんだという強い信念をもってください。「志あるところ、必ず道拓ける」という格言があります。この言葉を胸に頑張ってください。

二学期は、龍南中伝統の体育大会を皮切りに、様々な学校行事があります。脈々と受け継がれてきた、「龍南の魂」、1つのことに集中し、友と力を合わせ、誠意をもって取り組む。このコロナ渦の中、多くの人に感動を届けて欲しいものです。

今日から一日一日を大切に過ごし、112名全員の力で感動的な体育大会を創り上げていきましょう。

教育目標

「ふるさとを愛し、学ぶ意欲と確かな判断力・実践力をもち、心身ともに健康で人間性豊かな生徒を育成する。」

キャッチフレーズ

「世界に拓く「龍風の丘」！」  
～ 子どもの持つ良さを見つけ、認め、伸ばす教育の実践～

令和2年度・キーワード

「あたりまえを、あたりまえに  
あたりまえを、ひたむきに！」

～ ワクチン接種と変異株 ～

今年の夏休みも終わ、1年間の中でも、一番多くの行事が計画されている2学期がにスタートします。しかし、新型コロナウイルス感染症は未だに、終息に至っていません。その上、変異株と言われる新型「デルタ株」が、古い型に置き換わり、猛威を振るい、第五波となっています。

この新型は、2020年10月にインドで初めて報告され、2021年4月以降インドでの爆発的な感染拡大の一因となりました。その後、世界中で確認され、現在130カ国の国や地域で報告されています。この「デルタ株」の感染力は、従前のイギリスで発見された「アルファ株」と比べ高まっているとされています。国内の研究では、「デルタ株」は、おおむね従来の新型コロナウイルスに対して2倍程度「アルファ株」に対して1.5倍程度感染力が高まっていると報告されています。症状の重さも、大きいようです。

現在、世界各国、日本でも接種が進められている新型コロナワクチンの効果は、変異株に対しても、感染・発症を防ぐ効果は少し下がる傾向はあるものの、重症化を防ぐ効果はあるとされています。龍郷町では、中学生も、各家庭、各自の判断で、新型コロナワクチン接種を受けることができます。接種の効果、今後の生活、各自の体調、副反応等々、正確な情報を把握し、接種の是非を検討してください。

ウイルスは「細菌」とは違って単独では増えることができません。新型コロナウイルスもヒトや動物の生きた細胞の中に入り込み、細胞にある材料を使ってみずからの複製を作らせることで増えていきます。このとき、ウイルスの遺伝子が大量にコピーされます。ところが、何度もコピーを繰り返すうちに遺伝情報を受け持つRNAと呼ばれる物質の並びにごく小さなミスが起こります。これが「変異」です。多くの場合、この変化はマイナスの形で影響することが多いのですが、ごく希に、ウイルスの感染力や重症化力を強くしてしまう場合があります。それが、現在世界中で再拡大している変異株（アルファ、ベータ、ガンマ、デルタ、イータ、イオタ、イプシロン、シータ、カッパ・・・等）です。

では、今、私たちは行動すれば良いのでしょうか。

それは、3つ！

- (1) 間隔を取ることが大切
- (2) 三つの密を避ける。(密閉, 密集, 密接)
- (3) 予防の徹底(手指消毒, 咳エチケット等)

今まで、取り組んできた感染予防対策を確実に実行することで、また、そのことを漫画で読み、学ぶこともできます。



『はたらく細胞』清水茜さんの漫画、体の中の細胞を擬人化してその働きや役割などを描いたシリーズで、欧米やアジアなどでも出版されアニメ化もされています。

配信は出版社と厚生労働省が共同で企画し、▽新型コロナウイルスの特徴やウイルスがもたらす症状などをストーリー仕立てに描いた「新型コロナウイルス編」と、▽細胞の視点から感染予防に必要な対策を紹介する「感染予防編」の2つの作品を、4月28日から動画投稿サイトで無料で公開しています。Youtubeや他の動画サイトを検索してみてください。この病気を知り、どう対処すれば良いか、考える事ができるでしょう。2022年3/31まで期間限定【公式】



【漫画】はたらく細胞「新型コロナウイルス編」



【漫画】はたらく細胞「感染予防編」

<龍南中学校では>

登校時の検温・健康状態チェック

2校時・給食前・作業終了後の手指消毒等

黙食（無言給食）等を継続して指導しています！

7・8月の表彰等

県図画作品展中央審査  
<特選> 朝 柚奈



全国中学校相撲大会  
<ベスト16> 俵 幸平



第55回鹿児島県中学校音楽コンクール  
「夏の祭典」  
<銀賞> 吹奏楽部



第66回鹿児島県吹奏楽コンクール  
<金賞> 吹奏楽部

## 「このままでは地球がもたない！」

2015年9月、米国ニューヨークにある国連本部で、世界の193の加盟国が採択した世界共通の持続可能な開発目標です。地球には今、さまざまな問題が山積みで、それは複雑に絡み合っています。

### 「このままでは、地球は持たない——」

そんな危機感から、世界中のあらゆる立場の人々が協力することで、地球の問題を解決していこうというのがSDGsです。SDGsには、2030年までに達成を目指す17の目標があります。これは、国、企業、研究者、一般の市民、住民や女性、若者、障がい者など社会的に立場の弱い人々など、あらゆる人たちの声を聞き、さらにインターネットによる1000万人以上からのアンケート調査から決められた目標です。幅広い分野にまたがるこれらの問題を達成するには、「All the Planet（地球全体）」で取り組むことがなにより重要になってきます。世界の目標という、遠い世界のこのように感じてしまうかもしれませんが、SDGsは身近な場所から考え、行動できる目標です。そのためにも、まずはSDGsを正しく知って、理解する。そのうえで行動に移すことが大切になってきます。

### 「自分にできることはなんだろう?」と、「自分ごと」として考えてみる。

プラスチックゴミを出さないようにマイボトルやマイバックを持ち歩く。食材は地元の食材を地元で消費する地産地消を心がけて、輸送のときのCO2を減らす。食べ残しをやめて、まだ食べられるのに捨てられてしまう食材のフードロス減らす。毎日の生活の中でも、私たちができることはたくさんあります。

SDGsは2030年に目標の達成を目指しています。そのころ、今の小学生、中学生は大人に成長して、社会の中心で活躍しているはず。今から積極的に自分でSDGsにかかわっていくことが、2030年の世界をよりすばらしいものに変えていくことになるでしょう。

世界や日本の問題を知って、それを自分の身の回りの問題に置き換えて考えてみる。その解決のためには、家や学校でどんなことができるのか? 家族や友だち、学校の先生、地域の人たちと協力して、実行していきましょう。SDGsは未来に向けた「世界の共通の言葉」です。その最大のポイントは、ひとりひとりの尊厳を大切に「誰ひとり置き去りにしない」社会を築くこと。現代に生きるわたしたち、そして未来の地球に生きる人たち全員が、豊かで幸せに暮らすためのコンパス、それがSDGsです。私たちができることはたくさんあるはずですね。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 「9月1日は防災の日です」

9月1日は防災の日と呼ばれ、企業や学校、各自治体や町内会等で、避難訓練が行われます。これは、1923年の関東大震災を機に制定されたものです。



本校では、火災・地震対応等の避難訓練を実施しています。

災害は起こってほしくはありませんが、地震・災害の専門家が30年以内の発生確率が10%未満としていたにも関わらず発生した熊本地震（布田川断層帯・日奈久断層帯）があります。また、近い将来の発生の切迫性が指摘されている大規模地震には、南海トラフ地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震、首都直下地震、中部圏・近畿圏直下地震があります。中でも、関東から九州の広い範囲で強い揺れと高い津波が発生するとされる南海トラフ地震と、首都中枢機能への影響が懸念される首都直下地震は、今後30年以内に発生する確率が70%と高い数字で予想されています。地震による津波、火災等、いろいろな事を想定し、心の面でも物資の面でも災害に備えていなければなりません。



最初の約3日間をしのげる非常食等の準備、家族の集合場所などの確認をこの機会に備えたいところです。

## ちょっと、一冊!

### 『希望の一滴，アフガン最期の言葉』



2019年12月4日、この世界に、たいせつな、大切な人が凶弾に倒れました。その人は、65万人のアフガニスタンの人の命を救ったとされる日本人医師でした。医師・中村哲は、対テロ戦争の最中でも、アフガニスタンで医療活動を続けていました。「この国ではどうして毎日患者が増えるのだろう。問題はどこにあるのだろう」中村医師がたどり着いた答えは、「水」でした。

アフガニスタンに新たに川筋を作り、現地では親しみを込めて、「カカ・ムラド」=中村のおじさんと呼ばれた中村哲医師。

「もう銃を持たなくていい」食い詰めて兵士となった経験があるアフガン人男性は畑でほほえみました。戦乱と干ばつ、そして飢餓。治療よりも水と食料が必要だと医師中村哲は1,600本の井戸を掘り5万人の命を支える用水路を建設しました。砂漠化した大地に緑がよみがえり家族があたたかな食卓を囲む人間の暮らしが戻ったのです。

「平和には戦争以上の力がある—」、武器・暴力ではなく、争いを治め、人々を幸せに導く方法を現地の人々と実践していた人の記録です。皆さんにも、是非、読んで欲しい本です。

## 9月 (長月)September 10月 (神無月) October 予定

日	曜	行 事 等
9/1	水	始業式、実力テスト(~2)、安全点検 PTA朝のあいさつ運動(~6)
2	木	生徒会専門部会、龍進未来塾
3	金	生徒朝会、身体測定
5	日	PTA親子奉仕作業(中止)
6	月	いじめ問題を考える週間(~11)
7	火	全校朝会、第1回選挙管理委員会
11	土	土曜授業、学級弁論大会、八月踊り学習 青少年育成の日
12	日	家庭の日
16	木	龍進未来塾
19	土	青少年育成の日
20	月	(祝)敬老の日
21	火	体育大会予行
22	水	生徒会専門部会
23	木	(祝)秋分の日
25	金	体育大会準備
26	日	第74回体育大会
27	月	体育大会振替休日
29	水	第2回選挙管理委員会
10/1	金	地区駅伝退会、テスト前部活中止
3	日	小学校運動会
6	水	中間テスト①
7	木	中間テスト②
9	土	土曜授業
13	水	出前授業(3年:高校)
15	金	高校訪問(3年)
16	土	青少年健全育成の日
17	火	家庭の日
20	水	全校朝会
21	木	校内弁論大会
25	月	生徒会専門部会 町教委事務所合同訪問
26	火	生徒朝会
27	水	文化祭りハーサル
29	金	文化祭・合唱コンクール